

また会いましょうさよならのない国で/いとう佐知子さんの文章より

(福井県出身・創作人形作家・一男二女の母・2014年70歳で召天)

子育てワンポイント 励ましのことば13

「しつけは?」「教育は?」

**一番下の女の子が布団の上にパジャマ姿で
ちょこんと正座し、一人ひとりの名前をあげて
祈り始めたのです。**

私には三人の子どもがいますが、宿題をさっさと
してくれなかったり、けんかをしたり、叱れば抵抗したり、
一番下の子は身体が弱く、私はそのことを分かっているながら苛立ち、思い煩
いが先に立ち、子どもを育てることの難しさを痛感させられました。

そんなある晩、おしっこと歯磨きをし、順番にお祈りして寝る習慣にしてい
るのに、ぐずぐずし、上の二人も喧嘩を始めたので、二階にいた主人が降りて
きて、上の男の子を押さえつけていたら、一番下の女の子が布団の上にパジ
ャマ姿でちょこんと正座し、一人ひとりの名前をあげて祈り始めたのです。そ
の姿に私の苛立ちは消え、喧嘩をしていた二人の子をはじめ家中が一緒に
祈り始めました。

私はこの騒々しい雰囲気をもよおすに祈る幼な子の単純で素直な信仰を見
せられ、はっと自らを反省させられたのです。この体の弱い娘の動作に苛立
ち、どうして?とつぶやきかねないような私に、神様はこの子を通して教えよう
としておられる。からだに優る大きな賜物をこの子に与えておられるのだと知
らされたのです。

「しつけは?」「教育は?」と思ひ煩うより、「いつも喜び、絶えず祈り、すべての
ことに感謝する」私自身の信仰こそ最も大切なしつけであり、幼い信仰を
育てる唯一の手助けなのだと教えられました。

最近感動し、礼拝でもご紹介した、亡き母の手記を娘さんが編集して出版された書物から。自
分の心にも子どもの心にもまっすぐ向かってゆく母の姿に教えられます。憧れの生き方です。

